

人権だより No. 4

2026.7.10 (金)

～1 学期の人権教育を振り返って～

蒔田野小学校では、毎月 10 日前後を「人権デー」とし、放送や学級での取組を通して、「自分も友達も大切にすること」について考える時間を積み重ねています。

4 月には、6 年生が中心となって考えた今年度の人権目標

「みんなにやさしい 明るく楽しい蒔田野小学校」

を全校で共有しました。一人一人が安心して学校生活を送り、笑顔で過ごせる学校を目指してスタートしました。

5 月の人権デーでは、「あいさつは言葉の魔法」という詩を通して、言葉のもつ力について考えました。元気なあいさつや「ありがとう」「大丈夫？」などの温かい言葉は、相手を笑顔にし、自分自身の心も温かくしてくれます。一方で、何気なく発した言葉が相手を傷つけてしまうこともあります。子どもたちは、毎日の言葉づかいを振り返る機会となりました。

6 月には人権週間を実施し、「友達のよいところ見つけ」に取り組みしました。友達の素敵なおところや頑張っている姿を見つけてメッセージを書き、学級ごとに大きなあじさいの花を咲かせました。

「ありがとうと言ってもらえてうれしかった。」

「友達が自分のことを見てくれていたことが分かってうれしかった。」

「もっと友達のよいところを見つけない。」

そんな子どもたちの声も聞かれ、互いを認め合う温かな雰囲気が学校全体に広がりました。人権教育は、特別なことを学ぶ時間だけではなく、友達の話最後まで聞くこと。困っている人に「大丈夫？」と声をかけること。「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言えること。友達の頑張りを認めること。こうした毎日の小さな積み重ねが、「一人一人が大切にされる学校」につながっていきます。夏休みは、ご家庭や地域で過ごす時間が増えます。ぜひ、ご家族との会話や地域の方とのあいさつなど、身近な生活の中でも「相手を大切にすること」を意識して過ごしていただければと思います。

2 学期も、「みんなにやさしい 明るく楽しい蒔田野小学校」の実現に向けて、子どもたちとともに人権について考え、実践を積み重ねていきます。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

